

2月17日（金）3階D室 9：00～9：40

- 1 題材名 幸せってどういうこと？
- 2 考える価値内容 幸福（世界・科学）
- 3 題材について

1学期は、「てつがく」の授業について子どもたちも教師も試行錯誤の状態だったこともあり、主に身近なできごとを題材として取り上げてきた。2学期は、学ぶこと、働くこと、人の能力などに関心があるようなので概ねそれに沿った題材を取り上げてきた。朝の時間の「てつがく」として、11月から「ブリッジ」に取り組んでいる。これは、大きさ（大きいと小さい）、美しさ（美しいと醜い）など二つの極をもつ概念について、間を埋める言葉を出し合い、橋を架けようという取り組みである。先日「幸せと不幸」でブリッジを行ったところ、「金銭」「健康、長寿」「名誉」「友人、家族の存在」「自由」「能力」「安心」「対人関係」などに関わる多くの言葉を挙げる事ができた。1,2学期の題材は、「自己・感情」「他者・社会」に関わるものが多かった。そこで、3学期は「世界・科学」に関わる題材の中で3年生でも思考し続けることが期待できる「幸福」を取り上げることにした。

てつがくの時間のお題（テーマ）設定に当たっては、子どもたちの関心や思考の流れにできるだけ沿うようにしたいと考えている。そのため、前もって各時間のテーマを決めて指導計画を作るのではなく、授業中の子どもたちの発言や振り返りシートの「どうしても分からなかったこと」への記述を重視し、次の時間のテーマをその都度教師が決めてきた。数時間の授業のトータルとして、自己の世界を広げ、話し合いを通して違いの中から新たな知を生み出していけるようにしたい。

本題材では、自分の幸せだけでなく、家族や周りの人々の幸せ、社会全体の幸せなどについても考え話し合えるようにしたい。そのため、必要に応じて先人が語っている「幸せ」の定義や「幸せ」をテーマにした物語などを資料として提示する。テーマの候補として次のようなものが考えられる。

- ・おじいちゃん、おばあちゃんが子どものころと現在では、どちらが幸せか。
- ・国民が世界一幸せと感じているブータンの人たちは、何を幸せと感じているのだろうか。
- ・周りに不幸せな人がいると自分は幸せだと感じられるというのは本当か。
- ・大人の幸せと子どもの幸せは同じかちがうか。

4 学習指導計画（6時間程度の扱い）

第1時 動物園の動物と野生の動物は、どちらが幸せか。

第2時以降のテーマは未定。授業中の発言や振り返りシートへの記述から子どもたちの関心や思考の流れに合ったテーマを設定する。

5 本時の学習について

（1）本時のねらい

自分、家族、すべての人々にとっての「幸せ」について考え話し合うことを通して、他者、社会にも目を向け、自分の考えを広げたり深めたりする。

（2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1. この時間のお題を知り、自分の考え（初めの考え）をシートに書く。 2. 初めの考えを発表する。 3. 質問と応答。各自の考えを交流しあう。 4. 視点を変えてさらに話し合う。 5. 振り返りをシートに書く。 ・自分の考えの変化、「どうしても分からなかったこと」なども記入する。	・自分と向き合い、じっくり考えられるように、シートに記入する時間を4分程度取る。 ・まず、挙手に関係なく、全体の4分の1の児童に発表してもらおう。その後、発表したい児童のために時間を取る。 ・一つの話題について話し合いになったら、その話題からそれてしまわないように、教師が適宜確認をする。 ・図に表せそうな場合は、適宜図を活用する。 ・振り返りをシートに記入する時間を4分程度取る。